

平成27年度予算見積調書

課室名：農村整備課

担当名：企画担当

内線：4345

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B97	農業水利施設情報管理運営費			一般会計	農林水産業費	農地費	農地総務費	土地改良事業計画等調査費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
						分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
<p>1 事業の概要</p> <p>県内の基幹的な農業水利施設は老朽化により更新時期を迎えており、効果的な施設の長寿命化対策や円滑な更新整備が必要となっている。そこで、施設の劣化状況や周辺農地への影響等を継続的に把握し、情報の管理及び更新を行っていくことが重要である。</p> <p>このため、実態把握で得られた農業水利施設情報を既存の「埼玉県水土里情報システム」に登録することで地図情報として一元的に管理・把握し、施設管理者が行う施設の維持管理や計画的な補修及び更新等に対する支援を行う。</p> <p>(1) 農業水利施設情報管理運営費 1,550千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア システムソフトライセンス料(10課所) 1,050千円</p> <p>イ システム基本料(10課所) 200千円</p> <p>ウ 農業水利施設情報電子データ購入費(10課所) 300千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 「埼玉県水土里情報システム」の活用 「埼玉県水土里情報システム」を活用し、農業水利施設台帳データの一元管理を行う。</p> <p>イ 農業水利施設情報の更新 施設状況、維持管理状況等について、情報更新を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 農地や農業水利施設等に関する情報を地図情報化して管理することによる効果 紙や表形式のデータベースで管理していた多種多様な情報をシステムの地図上で一元的に管理・把握し、既存の地図情報を重ね合わせることで効率的な整備や適切な維持管理が可能となる。</p> <p>イ 情報を地図上でビジュアルに表示できることによる効果 農地の所有状況や利用状況、耕作放棄地の分布状況等について地図上でビジュアルに表示できるため、担い手農家への農地の集積・集約を効率的に行って耕作放棄地を解消することに活用できる。</p> <p>ウ 関係団体との相互利用による効果 県、市町村、土地改良区などが保有する様々な情報を共有できるため、各施設管理者に対し、計画的な施設更新や補修等について、適時適切な助言を行うことができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県土地改良事業団体連合会が管理運営している「埼玉県水土里情報システム」を活用することにより、県、市町村、土地改良区等で情報を共有する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>事業主体：県</p> <p>負担区分：(県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.3人=2,850千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	1,550							1,550	1,550
前年額									